

名古屋市瑞穂公園陸上競技場整備等事業における落札者の決定について

名古屋市瑞穂公園陸上競技場整備等事業について、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成 11 年 7 月 30 日法律第 117 号）第 8 条の規定に基づき、当該特定事業を実施する民間事業者の選定を総合評価一般競争入札により行い、落札者を下記のとおり決定しましたので、公表します。

令和 3 年 3 月 5 日

名古屋市長 河 村 た か し

記

1 落札者 竹中工務店グループ

構 成 員 株式会社竹中工務店名古屋支店（代表企業）
美津濃株式会社
日本管財株式会社
株式会社新東通信
協力会社 株式会社日本設計中部支社
株式会社プレック研究所中部事務所
ミズノスポーツサービス株式会社
名鉄協商株式会社

2 落札金額 金 49,655,568,196 円 (消費税及び地方消費税相当額を除く。)

3 入札参加者（申請順）

代表企業	備考
株式会社竹中工務店名古屋支店	以下、竹中工務店グループ
三菱UFJリース株式会社	以下、三菱UFJリースグループ
鹿島建設株式会社中部支店	以下、鹿島建設グループ
株式会社大林組名古屋支店	以下、大林組グループ

4 結果の概要

入札参加者名	竹中工務店 グループ	三菱 UFJ リース グループ	鹿島建設 グループ	大林組 グループ
提案内容の評価点 (800 点満点)	713. 75	612. 07	573. 34	600. 02
価格点 (200 点満点)	197. 53	196. 32	196. 20	200. 00
総合評価点 (1000 点満点)	911. 28	808. 39	769. 54	800. 02

※ 事業者選定審議会が、審議の結果を市に答申し、本市がその者を落札者として決定したものです。

※ 評価点の内訳を含め、審議会による審査結果に関する詳細については、後日、審査講評として公表します。

5 事業の概要

(1) 名称 名古屋市瑞穂公園陸上競技場整備等事業

(2) 内容 P F I 法に基づき、瑞穂公園陸上競技場等の設計・建設業務、現陸上競技場等の解体・撤去業務、瑞穂公園の維持管理・運営業務を行う。

(3) 方式 B T O 方式（民間事業者が施設の設計・建設・工事監理を行った後、その所有権を名古屋市に移転した上で、民間事業者が施設の維持管理・運営を行う。）

(4) 期間 契約締結の日から令和 23 年 3 月 31 日まで
(うち維持管理運営業務は、令和 5 年 4 月 1 日から令和 23 年 3 月 31 日までの 18 年間)

6 選定の経緯

(1) 入札方式 入札価格と入札価格以外の要素を総合的に評価して落札者を決定する総合評価一般競争入札方式

(2) 経緯

令和 2 年 7 月 22 日	入札公告、入札説明書等の公表
令和 2 年 9 月 3 日～9 月 7 日	参加表明の受付（資格審査書類の受付）
令和 3 年 1 月 6 日	入札書及び事業提案書の受付、開札
令和 3 年 2 月 27 日	事業者選定審議会から最優秀提案者の答申

(3) 事業者選定審議会委員（敬称略）

会長 伊藤 孝紀（名古屋工業大学大学院工学研究科 准教授）

委員 小林 和正（テミス綜合法律事務所 弁護士）

委員 中村 晋一郎（名古屋大学大学院工学研究科 准教授）

委員 中山 徳良（名古屋市立大学大学院経済学研究科 教授）

委員 二村 友佳子（公認会計士、税理士）

委員 來田 享子（中京大学大学院体育学研究科 教授）

7 今後の予定

令和3年7月	議決を経て、事業契約を締結
令和3年7月～	設計・建設
令和5年4月～	指定管理（維持管理・運営業務）
令和7年度	新陸上競技場完成

(参 考)

落札者の提案概要

1 陸上競技場の概要

構 造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造
観 客 席	約 30,000 席
建 築 面 積	約 26,100 m ²
延床面積	約 63,500 m ²
階 層	地上 5 階
高 さ	約 31m

2 施設整備等の特徴

- (1) 「空」と「森」と「大地」を表現し、公園に溶け込みながら名古屋の魅力を発信する陸上競技場
- (2) 観客の一体感を高めることで興奮と感動が増幅していくスタンド
- (3) 普段は市民に開放される陸上競技場コンコース
- (4) 公園と陸上競技場が一体になる 8 の字ループ
- (5) 公園からまちへ賑わいを広げる地域連携

(参 考)

落札者の提案イメージ

〈西面外観〉



〈競技エリア内観〉



〈公園鳥瞰図〉



※ 本図は、参考資料として提出されたものであり、実際のイメージとは異なる場合があります。